

学校通信

教育目標：「新しい時代を生き抜き、地域や日本、世界で活躍する人間の創造」

令和 2年 2月 1 4日 第 1 9号 四万十町立大正中学校

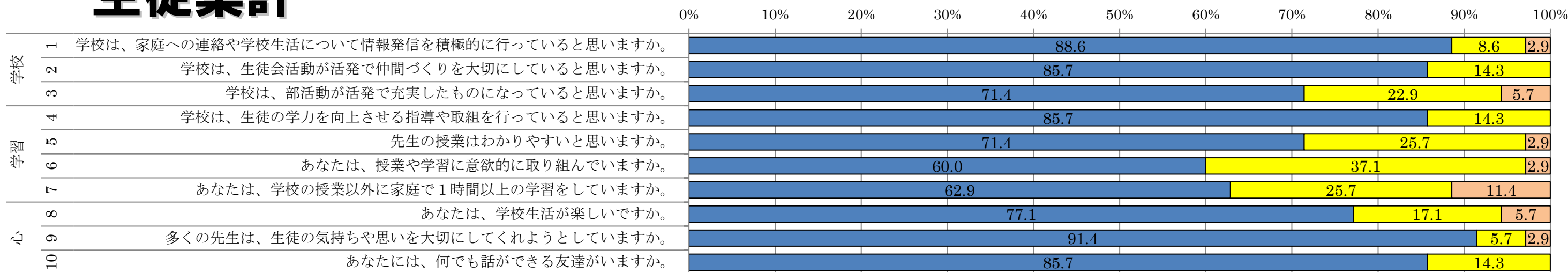


学校評価アンケート（後期）について

令和元年度学校評価アンケート（後期）について、下記のとおり集計しました。今後は、学校関係者評価委員会（地域・学識経験者・PTA）において、本アンケート結果や 1 年間の取組についてご意見を頂き、職員会で教育活動の推進や改善について協議し、取り組んでまいります。ご協力ありがとうございました。

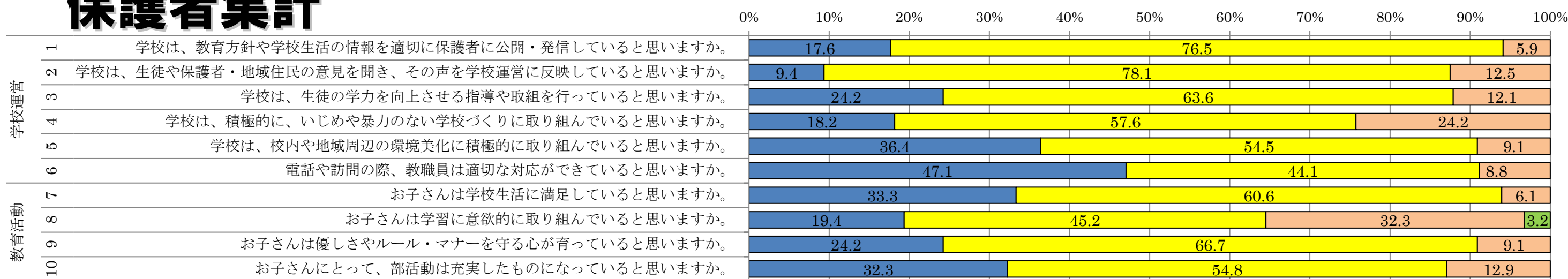
生徒集計

■ A そう思う ■ B ややそう思う ■ C あまり思わない ■ D 思わない



保護者集計

■ A そう思う ■ B ややそう思う ■ C あまり思わない ■ D 思わない



【 分 析 】 生徒肯定評価（A 回答+B 回答）は96.6%、保護者肯定評価は86.5%です。下記のとおり分析し、課題の改善に取り組んでまいります。

生徒の肯定評価は96.6%とおおむね良好でした。特に肯定の割合が大きかったのは設問2「学校は生徒会活動が活発で仲間づくりを大切にしている」設問4「学力を向上させる指導や取組」設問10「何でも話ができる友達がいる」の3項目が100%でした。前期の結果と比較して、全体の肯定評価が高くなっており、学校生活の満足度は向上しているものと考えられます。保護者の評価を見てみると、前期に比べ設問2「生徒や保護者・地域住民の意見を聞き、学校運営に反映」ではプラス17.1%、設問3「学力を向上させる指導や取組」ではプラス6.3%、設問4「いじめや暴力のない学校づくり」ではプラス12.8%と向上している項目がある一方で、設問6「電話・訪問の際の教職員の対応」マイナス5.1%、設問8「学習に意欲的」マイナス2.1%、設問9「優しさやルール・マナーを守る心」マイナス1.7%、設問10「部活動の充実」マイナス5.5%評価を下げていました。自由記述欄では「学校全体で子どもを一人ひとり支えてくれています。」「受験を控えた3年生に個別の補習や面接を熱心に取り組んでいる。」という肯定的な意見がある一方、課題として「生徒数の減少と学校統合の流れのなか、広い世界へ踏み出す子供たちに伝えるべき地域の良さや伝統を知る、ふれる機会を持ってほしい。」「地域と学校とがより距離を縮める取組を。」「たよりが面白くない」という意見があり、保護者や地域の方々の意見に耳を傾けつつ地域に根差した教育ができるようさらに邁進していかなければならないと感じました。このようなご意見を真摯に受け止め、よりよい学校教育ができるように指導してまいります。